

令和3年度 第1回 金沢大学 公開臨海実習 実施計画書

実習タイトル	「アカテガニに着目した海岸環境の保全に関する実習」		
<p>金沢大学 環日本海域環境研究センターが面する九十九湾にはアカテガニが生息しています。アカテガニ(<i>Chiramantes haematocheir</i>)は、十脚目ベンケイガニ科に分類されるカニの一種であり、日本では本州から南西諸島までに分布し、海岸や川辺に多く生息します。アカテガニは陸上生活に高度に適応していますが、成長過程(ゾエア期からメガロパ期を経て稚ガニまでの過程)において、一時的に海中で生活する必要があります。アカテガニは、一般的に7-8月の大潮(満月か新月)の夜、満潮の時間に合わせてメスが海岸に集合して、ゾエア幼生を放出します。</p> <p>九十九湾の海岸環境は、アカテガニの生息環境に適しており、ゾエア幼生の放出を観察可能です。そこで本実習では、アカテガニに着目して海岸環境の保全に関する実習を実施します。すなわち、①ゾエア幼生の放出の観察、②海岸環境の調査、③ビオトープを用いたアカテガニの行動観察を行います。ゾエア幼生を採集するための④乗船実習も計画しています。さらに、韓国の環境学の研究者を招聘して、韓国での最新の研究を聴講します。</p>			
実習内容キーワード	アカテガニ、ゾエアの観察、ビオトープ、環境保全、海岸環境の調査		
担当教員氏名・所属・役職名	鈴木信雄(環日本海域環境研究センター・教授)・関口俊男(環日本海域環境研究センター・助教)・木谷洋一郎(環日本海域環境研究センター・助教)		
協力教員氏名・所属・役職名	柳井清治(石川県立大学・教授) 洪天祥(Hankuk University of Foreign Studies・教授)		
対象学生・学年	国公立大学学部 1~4年生(院生も可)	開講期間	令和3年8月25日(水)昼~ 8月27日(金)
開講大学・施設名	金沢大学環日本海域環境研究センター 臨海実験施設		
施設の住所	〒927-0553 石川県鳳珠郡能登町小木ム 4-1		
電話	0768-74-1151	Fax	0768-74-1644
e-mail	nobuos@staff.kanazawa-u.ac.jp	Web Site	http://rinkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/
交通案内	金沢駅より実習施設まで往復ともマイクロバスで送迎予定です。8月25日、金沢駅に11時に集合してください。詳細は採用決定後に本人へ連絡します。能登空港の利用(羽田-能登間1日2便運行)を希望する学生は事前に連絡して下さい。		
費用	1,200円(宿泊費、クリーニング代)と毎日の食費。詳細は採用決定後に本人へ連絡します。		
授業科目名	臨海実習1(野外実習1)		
単位数	1単位 ※公立大学の学生については単位認定を行わないかわりに受講証明書を発行します。	定員数	7名
授業料の徴収について	徴収しません。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	7月9日(金)17時必着		
選抜結果連絡法	本人宛に受講許可証を郵送します。		